

一般社団法人資源・素材学会 資源・素材2023 (松山)
2023年度資源・素材関係学協会合同秋季大会
<企画講演>

～重要鉱物の資源循環のあり方～

2023年9月12日 (火) 13:00～15:00

※資源・素材学会大会行事として実施します。参加時には参加登録・学会参加費の負担が必要です。

2022年5月、経済安全保障推進法が施行され、同法では重要物資の中に永久磁石や重要鉱物を含めています。社会の脱炭素を進めるためだけでなく、我々の経済活動を支えるうえで重要鉱物の安定調達、環境に配慮した資源循環は重要です。カーボンニュートラルと循環経済（サーキュラーエコノミー）を念頭においた重要鉱物の利用や循環のあり方を議論します。

プログラム

- 13:00～13:05** 開会挨拶
安達 毅氏 (秋田大学)
- 13:05～13:25** 鉱物資源開発の持続可能性の検討ー究極可採埋蔵量とTMRの観点からー
秋田大学国際資源学研究科 教授 安達 毅氏
ボツワナ科学技術大学 テセレツォ ラロナ氏
- 13:25～13:45** サークュラー・エコノミーの評価とそのため情報共有
東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻 教授 村上 進亮氏
- 13:45～14:05** 鉱物資源の安定調達に向けた資源供給網のリスク解析
東北大学 駒井 武氏、肖 俊彬氏、松八重 一代氏
東京大学 山肩 洋子氏
- 14:05～14:25** リチウムイオン電池における重要鉱物のリサイクルについて
太平洋セメント株式会社 石田 泰之氏
- 14:25～14:45** 重要鉱物に関する国際標準化動向
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 清水 孝太郎氏
- 14:45～15:00** 総括
村上 進亮氏 (東京大学)

※プログラム・講演者等に変更になることがあります。あらかじめご了承ください。
※各講演には20分の講演と5分の質疑応答を含みます。

【主催】一般社団法人資源・素材学会／資源社会システム部門委員会
【後援】一般社団法人循環経済協会

【場所】愛媛大学 城北キャンパス [第6会場] 3F EL33 (共通講義棟C)

【形式】ハイブリット開催 (現地+オンライン)

【申込につきましては以下URLよりご確認ください】

<https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2023b/static/sankamouushikomi>

※資源・素材学会大会行事として実施します。参加時には参加登録・学会参加費の負担が必要です。